

2022年



## 片泊

### 片泊の十五夜(再掲)

以前、同じ題材を扱ったが、新たに取材した部分を補足したい。

【茅採り】普段は十五夜当日の朝行う。茅採りは二時間程、手分けして集める**B**。

【網作り】網は会場となる片泊学園で作る。網は龍を模した形になる。年長者や子供や女性は、茅を細く束ねて胴体の部品を作る**C**。

頭部は力仕事で男性が作る。まず、二本の竹にひと抱えの茅を積み、縄で縛る**D**。この束は三人がかりで切り口を揃える**E**。束を三つ重ね、中心に綱引き用のロープを挟む。束三つも一つに縛り**F**、ロープに細縄を結んで全体を補強して頭部は完成。

次に頭をフォークリフトで持ち上げ、ロープを胴体の芯に、準備した茅の細束を編み込んでゆく。継いだ細束は左に捻って、次に捻った束を右巻きにロープに巻きつける**A**。

編んだ綱がフォークに三巻きする長さで完成。校庭に置いて夜を待つ**G**。祭りは月が出る前に始まる。まず御神酒を飲んで、綱引きの練習をして待つ。

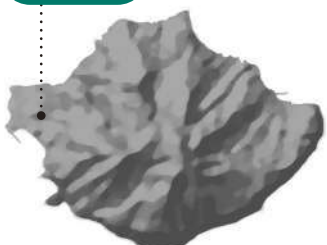
月が出たら本番**H**。綱引きが終わると綱を輪にして、未就学児から中学生まで相撲をとる。あとは大人数組が相撲をして賑わい、祭りは終わる。

### 思い出話

「綱に必要な2m以上の茅は意外と少ないです。よく似たスキは多いけど、葉の縁が鋭くて綱には使えません。」

片泊地区六〇代男性

片泊学園



500m

9